

令和7年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 結果のポイント

・全体結果

対象生徒数	平均正答率 (%)
国東市 (144 人)	55
大分県 (公立 8,552 人)	53
全国 (公立 870,560 人)	54.3

・分類別結果

分類		区分	平均正答率 (%)		
			国東市	大分県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	42.7	46.5	48.1
		(2) 情報の扱い方に関する事項	-	-	-
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	-	-	-
	思考力 判断力 表現力等	A 話すこと・聞くこと	55.7	52.1	53.2
		B 書くこと	54.7	52.7	52.8
		C 読むこと	62.3	61.1	62.3
評価の観点		知識・技能	42.7	46.5	48.1
		思考・判断・表現	56.9	54.6	55.3
		主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式		選択式	63.4	62.6	63.9
		短答式	74.3	74.1	73.6
		記述式	28.3	24.7	25.3

- ・平均正答率での全国平均との比較では差が+0.7ポイントで、全国平均を上回った。
- ・内容別での全国平均との差は「言葉の特徴や使い方に関する事項」で-5.4ポイント、「話すこと・聞くこと」で+2.5ポイント、「書くこと」で+1.9ポイント、「読むこと」で±0ポイントであった。
- ・観点別では、「知識・技能」は全国平均を下回ったが「思考・判断・表現」は全国平均を上回った。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項

1 案内文を書く（美術展のちらし）

設問一

①趣旨

文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における内容

〔第2学年〕知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。《漢字》

②解答類型と解答率

1 一	生徒数の割合	
	国東市	全国
問題の概要		
変換した漢字として適切なものを選択する (かいしん)		
◎1 と解答しているもの	27.8	35.2
2 と解答しているもの	33.3	31.9
3 と解答しているもの	38.9	32.7
4 上記以外の解答	0.0	0.0
5 無解答	0.0	0.2

◎は正解

◆分析と課題

- 解答類型2、3の解答率の合計は72.2%である。このように解答した生徒は、文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。

解答類型2、3の生徒は、「どれもかいしんの出来です。」の「かいしん」について、文脈から意味を捉えることができなかつたものと考えられる。または、意味を捉えることはできたものの、「会心」、「改心」、「改新」のいずれを使うのが正しいかを判断して選ぶことができなかつたものとも考えられる。

③学習指導に当たって

文脈に即して意味に注意しながら漢字を正しく使う

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を正しく使うように指導することが大切である。漢字の書きについては、小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字1,026字について、中学校修了までに文や文章の中で使い慣れるよう指導することが求められている。その際には、各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるよう指導することが大切である。

1人1台端末等を活用して文字を入力する活動を行う場合には、漢字がもつ意味に注意して、適切に選択することができるよう、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことに留意することが必要である。その際、日本語入力システムの変換候補にある漢字の意味の違いを確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることを習慣付けるようにすることが大切である。

なお、漢字の読みについては、学習指導要領の学年別漢字配当表に示されている漢字1,026字に加え、中学校修了までに学年別漢字配当表以外の常用漢字の大体を読むことを求めている。

設問二

①趣旨

目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における内容

〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。《題材の設定、情報の収集、内容の検討》

②解答類型と解答率

1 二	生徒数の割合	
	国東市	全国
問題の概要		
ちらしに「会場図」を加えた目的を説明しているものとして適切なものを選択する		
1 と解答しているもの	4.2	3.6
2 と解答しているもの	2.8	1.9
3 と解答しているもの	13.9	11.8
◎4 と解答しているもの	79.2	82.5
5 上記以外の解答	0.0	0.0
6 無解答	0.0	0.2

◎は正解

◆分析と課題

○ 解答類型1～3の解答率の合計は20.9%である。このように解答した生徒は、目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることに課題がある。

解答類型3の生徒は、【ちらし】が地域の小学校6年生の来場を促すためのものであることは踏まえているが、「会場図」の内容を捉えることができず、読み手が、会場となる体育館まで迷わずに来ることができるように、「会場図」を加えていると誤って捉えたものと考えられる。

③学習指導に当たって

相手や目的に応じて、必要な情報を取捨選択する

案内文など実用的な文章を書く際には、相手や目的に応じて材料を比較しながら、伝えるべき事柄を取捨選択するなど、集めた材料を整理して簡潔に分かりやすく書く必要がある。

例えば、同じ行事を案内するウェブページとちらしについて、盛り込む内容を検討する学習活動が考えられる。その際、ウェブページとちらしを比較しながら、それぞれが想定する相手や目的などを具体的に考え、必要な情報を取捨選択することが大切である。

3 文学的な文章を読む（「二人の兄弟」）

設問三

①趣旨

事象や行為を表す語句について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領における内容

〔第1学年〕知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
《語彙》

②解答類型と解答率

問題の概要	生徒数の割合	
	国東市	全国
「しきりと」の意味として適切なものを選択する		
1 と解答しているもの	2.1	3.7
2 と解答しているもの	6.3	8.7
◎3 と解答しているもの	57.6	61.0
4 と解答しているもの	33.3	25.7
5 上記以外の解答	0.0	0.0
6 無解答	0.7	0.8

◎は正解

◆分析と課題

○ 解答類型1、2、4の解答率の合計は41.7%である。このように解答した生徒は、「しきりと」という語句の意味の理解に課題がある。

解答類型4の生徒は、「気長な」兄が「木の下を探し廻る」姿を、注意深い様子であると想像し、「しきりと」の意味を「注意深く」と誤って捉えたものと考えられる。

③学習指導に当たって

事象や行為、心情を表す語句について理解する

事象や行為、心情を表す語句について理解するためには、動詞や形容詞、形容動詞、名詞、副詞など様々な語句について取り上げ、語句の量を増すとともに、話や文章の中でどのように使用されているかについて考えることが重要である。

例えば、本などから見付けた事象や行為、心情を表す語句を取り上げ、辞書的な意味を踏まえて、文脈上の意味を考える学習活動が考えられる。その際、他の語句と比較しながらその語句が文章の中で果たしている役割を考えるなどして、語句の意味や使い方について理解を深めることが大切である。

【参考・引用】 令和7年度 全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省・国立教育政策研究所）